

中国の経済発展をどうみるか

2007年5月8、15、22日

東京大学総合文化研究科・教養学部

学術俯瞰講義「人類社会の将来とサステナビリティ」

各論2 「持続可能な開発」の課題

講師：中兼 和津次（青山学院大学）

「†:このマークが付してある著作物は、第三者が有する著作物ですので、同著作物の再使用、同著作物の二次的著作物の創作等については、著作権者より直接使用許諾を得る必要があります。引用情報のない図版は、著作権フリーなもの、あるいは講演者の有する著作物の中から引用されたものです。」

成長と安定のメカニズム

- 課題山積だが、なぜ中国は現在体制として「安定」しているのか？単に共産党支配が貫徹し、末端まで統制しているためか？
- その他に考えられる理由を列挙してみよう
- 潜在的成長力は非常に高い(既述)
- 分配は不平等化するが、社会の多くの人々は「改革と開放の受益者」
- 中華ナショナリズム：社会主義イデオロギーは衰退したが、ナショナリズムはむしろ強化
- 緩やかな改革と事実上の自由化

つづき

- しかし、最大の理由は成長しているからではないだろうか
- 成長と安定の相互作用：成長すれば社会的安定は維持され、安定さえすれば成長は促進される
- 逆に言えば、成長が止まったとき、中国社会の不安定性は一気に進む？
- 「中国自転車操業」説

つづき

- 農民争議はこれまでも数多く起きてきたが、それにより中国全体が混乱することはなかった
- 環境問題も重荷であるが、そのために中国で騒動が頻発することはなかった
- 腐敗は深刻だが、国際比較してみると、中国より腐敗している国は数多くある
- これらの問題に対する対策も打ち出されつつある

補論：社会主義体制はなぜ崩れたのか？

- 体制移行の必然性
- 理念と現実のギャップ
- 生産力の停滞、開く東西格差
- 社会主義計画経済は自律的ダイナミズムを持っていなかった
- つまり、体制の持続可能性に欠けていた
- なぜ？

経済体制が持続し発展するには

- 財サービスの需給が長期的に見て一致すること(増大する欲望が満足される)
- そのためには、適切な情報処理メカニズムがあること
- 新たな欲望を創出し、古い体制を破壊する(シュンペーターの言う「創造的破壊」)メカニズムを内包していること
- 体制内の制度間にある種の整合性(consistency)や親和性がなければならない

体制構成している制度間の整合性

- 体制 (system) はさまざまな制度 (institutions) から構成されている
- 制度間の整合性や親和性: たとえば市場制度と私有制度 (中国の経済体制はそのような方向に)
- もしそれが正しければ、広義の体制移行においても政治と経済の両体制においてある種の整合性が保たれなければならない
- 現代中国: 経済的豊かさの追求: 市場経済化を図りつつ党体制を維持
- したがって、いずれは政治体制の変革が必要?
- 多様化する利害をどう調整するか

シュンペーターのいう企業家の動機

- a)「私的帝国を建設しようとする夢想と意志」
- b) 勝利者意志
- c) 創造の喜び
- こうした動機は競争の中において初めて満たされる

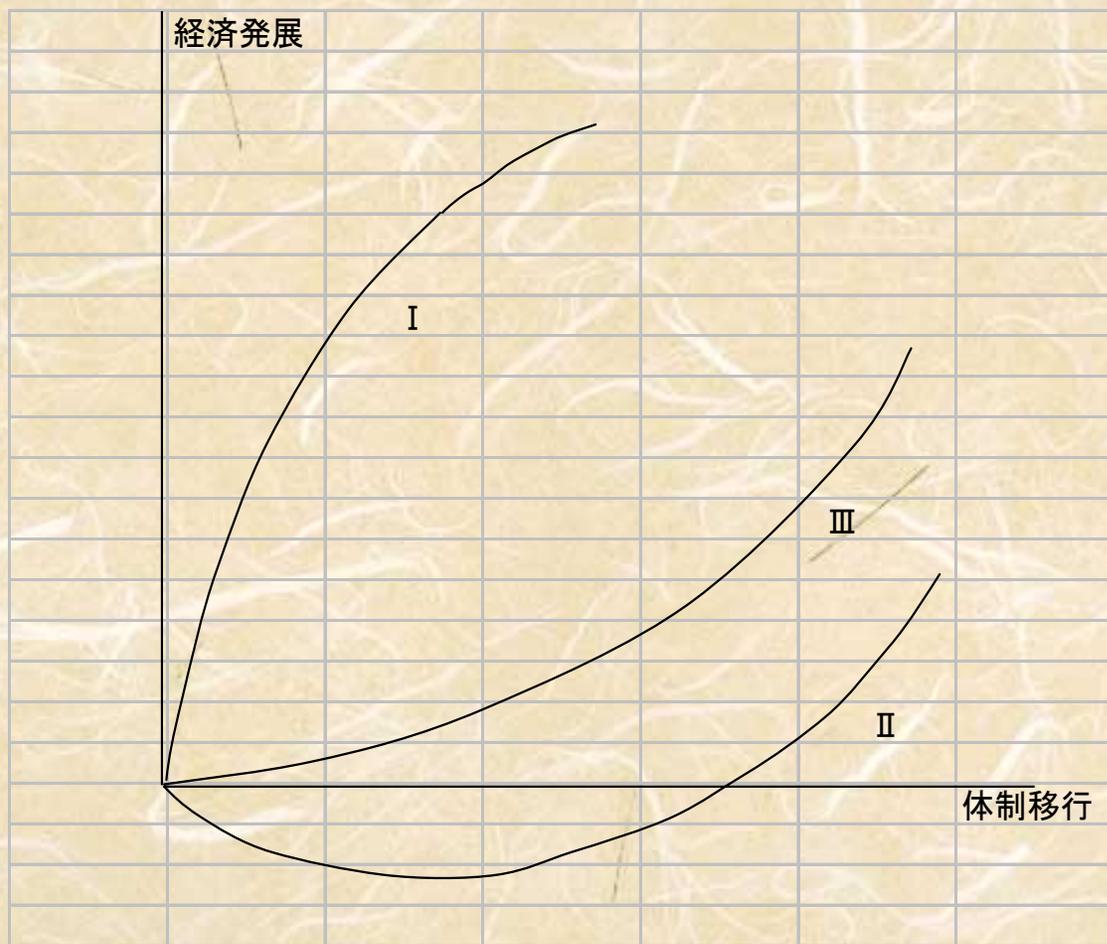
結びに代えて：中国の経済発展や体制移行をどう考えるか

- 中国の学者との討論から感じたこと：われわれの認識とのずれ
- たとえば農村戸籍問題について
- あるいは、退職年齢に見られる男女差別について
- 中国的やり方 (Chinese way)

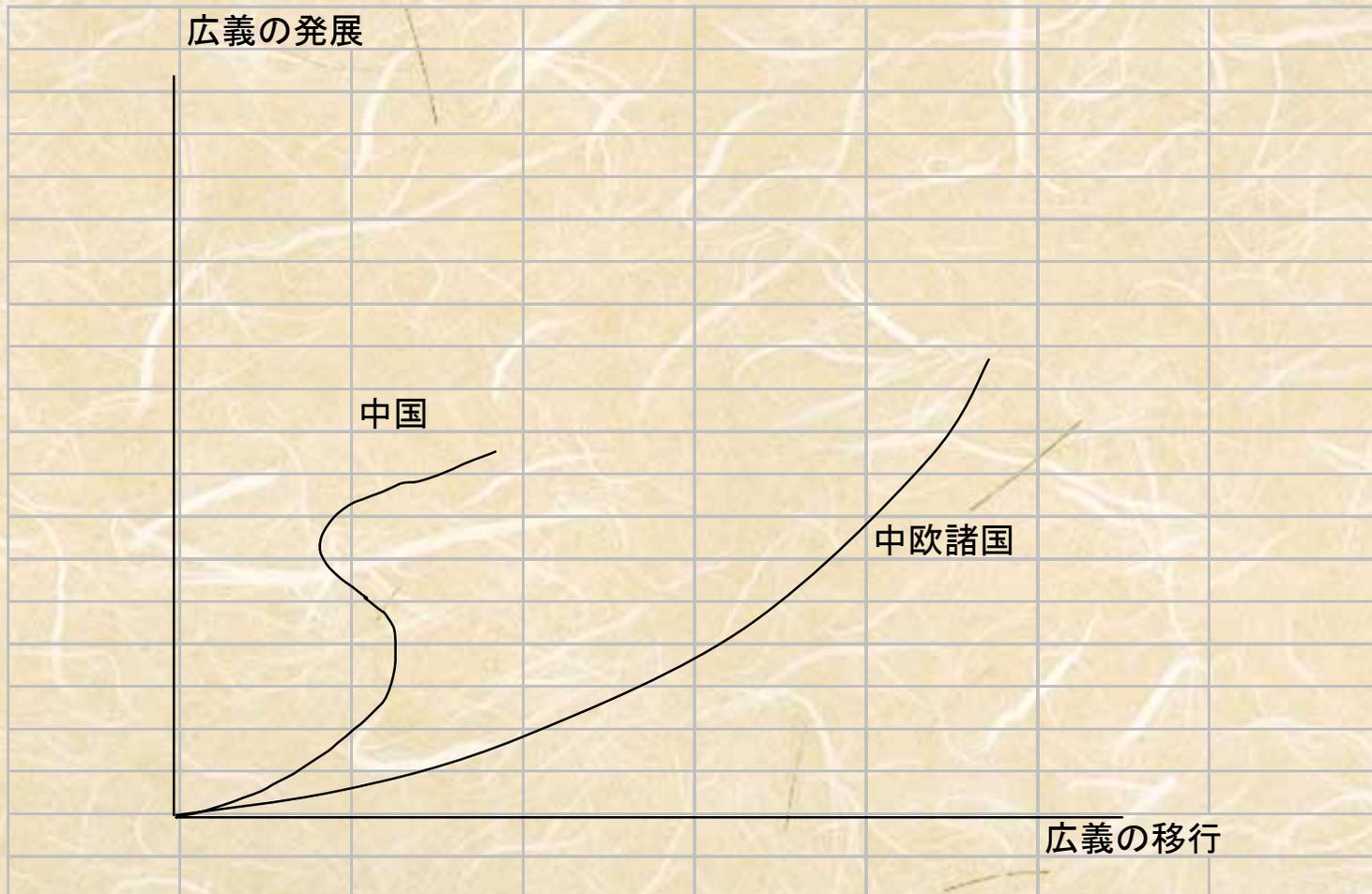
狭義の発展と移行

- 広義の発展と移行を求めるのではなく、狭義の発展と移行を進めてきた中国
- もしもワルシャワ大学の学生100人と北京大生100人にアンケートをしてみれば・・・

狭義の発展と狭義の移行との関係 (筆者作成)



広義の発展と広義の移行 (筆者作成)



多様な道

- 発展や移行の過程は多様である (There is no single way to economic development and transition)
- しかし、究極的には同じ道に？
- 結局は価値観の問題なのだろうか？
- 外国地域研究に対する社会科学的態度
- Warm heart and cool head
- An addition: flexible thinking

感謝！

- 3回にわたる聴講に感謝します
- この講義は何らかの意味で役に立ちましたか？
- できたら周りにいる中国人の友人たちと議論してみよう

主たる参考文献

- 中兼和津次『シリーズ現代中国経済第1巻 経済発展と体制移行』名古屋大学出版会、2002年
- 佐藤宏『シリーズ現代中国経済第7巻所得格差と貧困』名古屋大学出版会、2003年
- 毛里和子『現代中国政治(新版)』名古屋大学出版会、2004年
- 唐亮『変貌する中国政治』東京大学出版会、2001年
- 速水佑次郎『開発経済学(新版)』創文社、2000年
- 王雲海『中国社会と腐敗』日本評論社、2003年
- 中国環境問題研究会編『中国環境ハンドブック2005-2006年版』蒼蒼社、2004年
- 宮崎正弘『中国瓦解—こうして中国は自滅する』阪急コミュニケーションズ、2006年